

子ども大学さやま第三日の講義が行われました。

子ども大学とは、大学のキャンパスなどで小学校では学ばないことを、大学の先生などの専門家が分かりやすく教えるものです。

- ・ものごとの原理やしくみを追求する「はてな学」
 - ・地域を知り、郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」
 - ・自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」
- と、3分野の内容の講義を基本的に行います。

第三日の講義は飯能信用金庫、田中昭浩先生による「経済とお金に関するクイズと講義」【生き方学】でした。

お金の歴史やその役割についてクイズを交えながら学びました。

その後、信用金庫とは何かについての説明があり、貯金・貸付・決済等お金の働きについて学びました。

また本物の5千円札を見ながら、紙幣の隠れ文字などの偽装防止技術についても学びました。この講義を通じて、お金の価値や役割、銀行について考える機会を得たようでした。



講義の後、修了式が行われました。子ども大学さやま学長 高橋暢雄先生（武蔵野学院大学学長）から1人1人修了証書を受け取り、学生代表の1名が感想を発表しました。
修了式後の写真撮影では、特別ゲストとして狭山市のイメージキャラクター“七夕の妖精おりびい”が来てくれ、皆さんと一緒に記念撮影を行いました。



今年度の子ども大学さやまは以上となります。
来年度も開校予定ですので、ご関心をお持ちになりましたら、ご参加をご検討ください。